

留学先国名 : カナダ

留学先学校名 : Camrose Composite High School

留学期間 : 平成 28 年 1 月 29 日 ~ 29 年 1 月 23 日

1 年間のカナダ留学はとても有意義なもので、行って本当に良かったなと改めて思いました。

このカナダ留学は、自分の自信になり、将来の夢につながる大きな一歩にもなったと思います。

私が 10 ヶ月ぐらいお世話になったホストファミリーはとても親切で、いつも私のことを気にかけてくれました。ホストマザーは、私と同じ 16 歳の時に日本を訪れたことがあり、言語の通じない辛さや日本的な考えをとてわかってくれました。なので、私たちはカナダと日本の文化、性格などの違いを話し合う機会が多くありました。また、そのホストマザーはいろいろな国に旅行に行ったことがあり、その話を聞くことがとても楽しかったし勉強になりました。将来、世界中を飛び回って、いろんな国の人、いろんな言語に触れながら働きたい私にとって、他国の文化やその国に住んでいる人の習慣や性格を知り、それに合わせて話したり対応したりする事は大切なので、とてもためになりました。ホストファザーはとても面白くて、いつも私をからかったり面白いことをして、私を笑顔にしてくれていました。笑顔は世界共通で、人と人を結ぶ共通言語のようなものだなと改めて思い、実感しました。それに、ホストファザーはいつも話を振ってくれたり、日本ではどうなのかなどを聞いてくれて、おかげでいつもみんなの会話に入ることができとても嬉しかったです。やはり、英語は誰かと話さなければ上達しないと私は思うので、私にとって、とても良い環境で 10 ヶ月間過ごせたなと思います。私のホストファミリーには 3 歳の双子のホストブラザーがいて、その子たちに下手な英語は話してはいけないと思い、必死に単語を勉強して、きちんとした文法を使うことを心がけました。たまに、ホストブラザーが使った英単語を知らなくて悔しい思いもしたけれど、その度にもっと頑張らなければと、自分を奮い立たせる原動力になり、よかったなと思います。

私が一年間通っていた高校は、レベルが高い方で、来ている生徒や先生、保護者、みんなとてもいい人ばかりでした。宿題がたくさんあり、昼休みや放課後に勉強するのはアジアの人々だけだと思っていたけど、私の友達はずっと勉強をしていて、カナダのイメージがとても変わりました。そのように、自分が持っていたカナダのイメージと本当のカナダは全く違うもので、それを知ることができて、とてもよかったし楽しかったです。そして、私たちがカナダのイメージを持っているように、カナダ人にも日本のイメージがあり、それを知ることによって、日本の良さや日本らしい綺麗な習慣、文化や歴史を改めて考え直したり知ったりすることができてよかったです。私は日本の歴史などをほとんど知らなかったので少し恥ずかしい思いをしました。なので、これからもっと日本に興味を持ち、他国に行って日本の良さをアピールできるくらいになりたいです。日本とカナダの違いなどを話している時、たまに特定の外国人に対してどう思うかなど聞かれることがありました。その人は、アジアの国々のことが嫌いだと言っていました。私にはその意味がわかりませんでした。国籍によって避けたりすることは人種差別だと思います。私の友達の中にドイツから来た生徒がいました。その子と話している時、「私は英語を話しているし、カナダに住んでいるけれどドイツ人だよ。」と言われ、私はとても驚きました。

私はカナダにいる英語を話す人はみんなカナダ人だろうと、勝手に思い込んでいました。でも、その後よく考えると、それはただの偏見じゃないかと思いました。日本に住んでいて日本語を話している人が全員日本人かという、そうではありません。カナダは多民族国家なので、フィリピン、ベトナム、中国、韓国、ドイツ、ベルギー、フランスなど、いろんな国から来た人がたくさんいました。私は、そんな環境は本当に素晴らしいと思い、いろんな国々から来た生徒とたくさん話す努力をしました。他国について知ることはとても楽しく、貴重な経験だったと思います。そのような経験をした人が増えれば増えるほど、日本を見直してもっと良くなると思うし、世界平和にも繋がるのではないかと思います。今回の留学を通して、英語を学んだだけでなく、日本の文化や考え方、素晴らしい習慣などを改めて知り、日本の直さなければいけないところも学びました。自分の国をよく知り、それを知った上で他国を知るということを世界中のみんながすると世界がもっと良くなるのではないかと思います。